

## 地域ケア会議

鹿児島市地域包括支援センター 谷山南

### 【計画】

作成担当者： 迫田 真一

開催日時	平成31年03月13日 15:00 ~ 17:00	開催場所	谷山市民会館
参加者	居宅介護支援事業所：12人、地域包括支援センター職員：6人		
	総数	18人	
内容	テーマ	事例検討会	
	目的	個別課題の解決、地域包括支援ネットワークの構築	
	概要	<p>(検討テーマ)</p> <p>○前回の事例検討会にて決定したA・B・Cグループより第3回事例検討会はCグループを中心に開催</p> <p>○来年度の事例検討会の在り方について</p> <p>(検討項目)</p> <p>○事例検討会：Cグループによる事例検討会。</p> <p>○来年度の事例検討会の在り方について検討。1月に実施した事例検討会の在り方についてのアンケート結果を元に、現在の包括主催の方式から特定事業所加算算定事業所を含め「共同」で行う事例検討会方法を検討し、特定事業所加算算定事業所の増加、個々のスキルアップ、谷山南圏域内居宅介護支援事業所の信頼関係構築、主任介護支援専門員更新に伴う指導事例確保等の必要性を協議。</p>	

### 【結果】

開催日時	平成31年03月13日 15:00 ~ 17:00	開催場所	谷山市民会館
参加者	居宅介護支援事業所：12人、地域包括支援センター職員：6人		
	総数	18人	
内容	<p>○事例を通して、本人が独居継続していくために、担当ケアマネジャーと病院職員、近隣協力者、その他関係者と情報共有し、本人意向に沿って生活課題のリスクを家族にもっと具体的に説明していく必要があることがわかった。担当ケアマネジャーの役割として、本人と家族を交え、独居生活が難しいと思われる生活ラインを決めておくことや、現状で支援内容を見直すことは難しいが危険予測について協議の機会を作りトラブル防止、緊急時の対応等を話し合っていくことが大切だと学んだ。</p> <p>○来年度からの事例検討会の在り方について、包括谷山南平山氏から、今年1月に実施アンケート結果報告、特定事業所加算算定に関わる事例検討会の説明がある。事例検討会参加者全員から意向確認を行い、今年4月から特定事業所加算を算定している「はっぴー園、はっぴー・クリニック、介護相談とこ旭ヶ丘」を中心に、「共同」「参加型」の新しい事例検討会方式を進める方向で同意が得られたが、この場で新しい事例検討会についての具体的内容の決定は困難だったため、近日中に改めて各事業所と協議の場を持つことになった。</p>		
今後の課題など	<p>来年度、新しい事例検討会方式で実施していく場合、年度の途中で評価を行う必要がある。</p> <p>包括の役割を見直すことや谷山南独自の地域ケア会議の開催について協議していく必要。</p>		